

地域発 元気づくり支援金 知事表彰事業一覧表 (令和5年度「地域発 元気づくり支援金」活用事業)

地域	表彰式日時	場所	事業名【実施団体名】	事業の概要	選定のポイント
佐久	12月16日(月) 13:30~13:50	佐久合同庁舎講堂	筋トレ及びストレッチで健康寿命延伸事業【ちょこっとストレッチ教室】	コロナ禍により社会とのつながりが少なくなった高齢者の居場所づくりや、フレイル予防・健康づくりを目的に、安価で気楽に参加できる運動教室を開催した。令和5年度は163日、342回開催し、延べ8,747人が参加した。	通年で運動教室に多くの参加者を集め、住民に対して運動機会を提供することにより、フレイル予防・健康づくりに貢献した。参加者アンケートでは、「友人が出来た」「外出機会が増えて精神的に気分が明るくなった」などの声もあり、体だけでなく心の健康にも良い影響を与えていると評価できる。
上田	12月10日(火) 13:30~14:20	上田合同庁舎講堂	地域住民と神科小学校児童による玄蕃山里山整備【長島自治会】	上田市神科地区にある里山「玄蕃山」において、地元小学校と協働して旧マレットゴルフ場の遊歩道作りを実施したほか、伐採した桜の木のチップを活用した燻製作りなどの体験学習等を実施した。また、アサギマダラの飛来地として、フジバカマの移植や看板設置などの環境整備を実施した。	管理面で課題を抱えていた旧マレットゴルフ場を、地元の小学校・児童を巻き込んで維持管理するとともに、地元住民と小学校児童の交流につなげた点がモデル的である。また、本事業は、令和6年度継続事業として当該拠点の環境整備を進めているところであるが、令和5年度事業において、玄蕃山での活動が地元小学校の年間を通じた総合学習に組み込まれるなど、顕著な成果をあげている。
諏訪	12月20日(金) 13:30~14:20	諏訪合同庁舎5階 講堂	富士見縄文推進事業【富士見町商工会】	日本遺産に登録された「縄文」をテーマに地域住民が協働し、次世代につながる地域づくりを進めるため、子どもたちや家族連れを対象に、縄文フードや弓矢づくり体験、縄文とハロウィンと掛け合わせたイベント等を実施する。	縄文文化をメインテーマとして、地域が一体となって様々なイベントを開催している。飲食関係事業者と連携し、縄文文化と「食」を関連付けた「縄文フードフェア」の開催や、地域内の中学生・高校生等との協働によるオリジナルLINEスタンプの作成等、幅広い世代が関わりやすい工夫がされており、多世代の交流促進や、地域愛の醸成、地域の魅力向上が期待される。
上伊那	12月17日(火) 13:00~14:00	伊那合同庁舎講堂	信州飯島風街道りんりん祭2023【飯島風鈴街道実行委員会】	地域特性である「風」に着目し新たな町の資源として活かすため、風鈴10,000個を展示した「信州飯島風街道りんりん祭」を開催。町の有志を中心に町や企業なども加わり、地域一帯で祭りを運営。風鈴の展示数でギネス世界記録を達成させた。	本事業は、「風」を地域資源として取り上げ、風鈴イベントにまで発展させた点に工夫が見られ、モデル性が認められる。また、当初、町の有志で始まった取組が、町役場や商工会などの団体や多くの町民を巻き込むようになり、昨年度は展示された風鈴の数が10,000個に達し、町人口8,714人を大きく上回る成果が得られたことから協働性も認められる。
南信州	12月16日(月) 13:45~14:15	飯田合同庁舎 3階 講堂	高齢や障害(個人的な生きづらさ)を持っている方々の外出のためのインフォーマルサービス創出事業【南信州おでかけチーム”ウィズ”】	南信州地域においてユニバーサルツーリズムの普及、取り組みの推進を図るため、キックオフシンポジウムの開催やPR動画の制作、教育用テキストの作成及びバスリフトの購入・貸し出しシステムの構築を行った。	県が掲げる「誰もが楽しめる観光地域づくり」の推進に資する取り組み。シンポジウムの開催や動画制作による情報発信の実施等を実施し、県や地域において取り組み事例の少ないユニバーサルツーリズムの普及に寄与した。昼神温泉という地域ならではの温浴施設へのアプローチもあり、観光や福祉等分野を跨いだ波及効果が期待できる。
木曾	12月25日(水) 13:30~13:45	木曾合同庁舎2階 講堂	狩猟シミュレーションを利用した新規捕獲技術者の発掘・育成事業【木曾猟友会】	新規猟銃免許取得者の発掘・育成のため、模造銃と投影映像によるシューティングシミュレータを活用し、狩猟体験講座や銃猟初心者技術向上講座を開催。また郡内の中学校、林業大学校などでは野生鳥獣と人との関係を学ぶ講座を開催した。	木曾地域では有害鳥獣被害が深刻化する一方、狩猟者は高齢化等により年々減少している。シューティングシミュレータの導入により、狩猟免許の取得促進、また地域課題解決に向けて若い世代の育成が図られた、優良事業である。
大賞 松本	12月18日(水) 13:30~14:30	松本合同庁舎講堂	信州松本うらまちレジリエンス・プロジェクト【信州松本うらまちレジリエンス協議会】	松本うらまち地区のにぎわい創出のため、「知ってもらおう」探検イベントや地域紹介の刊行物発刊、演劇公演を行ったほか、「空き店舗解消」に向けた空き店舗見学ツアーや、バー・喫茶等の事業性の検証を行い、3年間で13店舗が開店した。	中心市街地の空き店舗という多くの市町村で見られる課題に対して、一定の成果を上げている点が評価できる。3年間の元気づくり支援金活用期間が過ぎた令和6年度には、団体をNPO法人化し活動体制を強化。他団体との連携など活動の幅を広げながら継続している点も良い。
北アルプス	12月24日(火) 13:30~14:10	大町合同庁舎講堂	大系線利用促進事業【小谷村大系線振興会議】	大系線乗車時の楽しさを創出するため、糸魚川駅から南小谷駅までの9駅をテーマにしたアクリルスタンドを景品とするガチャガチャを設置した。また、車窓からの農山村の風景を楽しむため、視界を遮る雑木を伐採した。	村民から募った大系線活性化のアイデアを事業化しており、ガチャガチャ設置は、大系線への関心を高め応援の輪を広げる魅力発信ツールとして効果があった。また、現在も景観向上のためのさらなる検討が進んでいる。さらに、スマートフォン用ゲームアプリを活用した新たな取組を実施しており、展開の広がりが大きくなっている。
大賞 長野	12月23日(月) 13:00~14:00	長野合同庁舎501~503会議室	ソルガムコンソーシアム事業【信州そるがむで地域を元気にする会】	アレルゲンフリー、省力栽培、バイオエネルギー素材等の利点を持つ穀物「ソルガム」を軸に、産官学の多様な主体がコンソーシアムとして、農福マッチングの検討会、栽培講習会、料理教室、マルシェ等を実施し、遊休農地の活用、6次産業化による利用促進に取り組んだ。	多様な主体が個々の特性やつながりを生かして取り組むことにより、 ・学校給食における活用、パン、クッキー等の商品化やアンテナショップの開店 ・企業、就業継続支援事業所による生産から商品化までの一体的な事業化 ・ソルガムの茎葉を利用したバイオブリケットの活用 等につながるなど、ソルガムを通じた更なる地域の活性化や脱炭素社会の推進が期待される。
大賞 北信	12月17日(火) 13:15~13:35	北信合同庁舎講堂	インバウンドの聖地山ノ内町での外国語実践研修&人材育成事業【一般社団法人観光教育・インターンシップセンター】	観光業への理解と就労を促進するため、旅館等の経営・接客を学ぶインターンシップを開催。3年目には海外観光客を接客する研修を取り入れ、外国語を学びたい学生と海外観光客を受け入れたい旅館等のニーズに応えるプログラムを展開。	インターンシップには3年間で県内外の大学・専門学校等のべ330人の参加があり、そのうち25%が観光業に、数名が町内の旅館に就職した。国や県で進める観光人材政策につながる取組であり、今後予定している全県での事業展開により、一層の観光産業の人材確保や交流人口・関係人口創出に期待できる。